

やっさもっさ新聞は三原を元気にする多くの企業様に支えられ発行しております。

有限会社I W I L L 土居写場
 株式会社赤石硝子建材
 赤谷木材株式会社
 有限会社安芸緑化機材
 公認会計士浅田勝彦事務所
 池田電工
 岩西自動車
 有限会社上田製版印刷所
 株式会社ウツミ
 宇野事務所
 株式会社エヌワイティグループ
 株式会社大石製作所
 大下建設株式会社
 大東印刷株式会社
 オートドリーム三原
 株式会社小川電気工事
 奥田自動車
 有限会社お茶の平野園
 小野税理士事務所
 有限会社笠下工務店
 有限会社片山自動車工業
 勝原不動産株式会社
 株式会社勝村商店
 勝村木材株式会社
 株式会社ガルバ興業三原工場
 寿司・割烹かわ蝶
 有限会社河本商店
 株式会社関西通商
 有限会社完山商店
 共立電機産業株式会社
 有限会社共和設計
 共和不動産株式会社
 株式会社桐島電気サービス
 熊野開発株式会社
 株式会社倉橋匠栄堂
 警備保障イーグル88
 医療法人仁康会小泉病院
 広愛産業株式会社
 株式会社コグマヤ
 極楽寺
 小松木工株式会社
 株式会社サービスセンター
 株式会社阪井養魚場
 株式会社坂元鉄工
 株式会社笹井産業
 有限会社サニー住設
 株式会社SunEighT
 三陽環境管理株式会社
 山陽建設株式会社
 山陽製粉株式会社
 有限会社シー・イー・サブライ

C B テ ク ノ ロ ジ ー 株 式 会 社
 し ま な み 信 用 金 庫
 株 式 会 社 住 創
 順 勝 寺
 株 式 会 社 正 田 文 華 堂
 株 式 会 社 ス ミ ダ
 株 式 会 社 セ イ ム
 セ ブ ィ レ ブ ン 世 羅 町 店
 惣 田 司 法 書 士 事 務 所
 ダ イ ヤ モ ン ド ゴ ル フ 練 習 場
 タ カ シ ン ホ ー ム
 瀧 宮 神 社
 有 限 会 社 タ ク ト コ ー ポ レ ー シ ョ ン
 竹 本 自 動 車
 田 中 運 輸 株 式 会 社
 田 辺 製 麩 工 場
 有 限 会 社 多 森 薬 局
 有 限 会 社 中 央 地 所
 有 限 会 社 中 国 補 聴 器
 く し 焼 き 狄 組
 有 限 会 社 寺 迫 組
 有 限 会 社 東 亜 不 動 産
 ト ー タ ル サ ポ ー ト T S C
 和 食 処 登 喜 将
 富 野 機 工 株 式 会 社 三 原 営 業 所
 株 式 会 社 中 野 産 業 社
 中 間 釀 造 株 式 会 社
 な ぎ さ 医 院 内 科 ・ 皮 膚 科
 株 式 会 社 ナ ン バ 洋 服 店
 有 限 会 社 西 岡 設 備 店
 に っ た 文 具 店
 日 本 生 命 保 険 相 互 会 社
 N E J I R O
 有 限 会 社 野 竹 電 工
 株 式 会 社 八 天 堂
 株 式 会 社 原 アル ミ 建 材
 ハ ー ロ ー ラ ン チ 株 式 会 社 本 郷 給 食 セ ン タ ー
 光 自 動 車 ガ ラ ス 専 門 店
 松 山 泰 三 税 理 士 事 務 所
 平 田 歯 科 医 院
 有 限 会 社 広 興 病 院
 広 島 電 気 工 事 株 式 会 社
 フ ァ ミ リ ー レ ス ト ラ ン 太 陽 樹 高 須 店
 農 事 組 合 法 人 風 舎
 株 式 会 社 富 久 屋
 福 山 工 業 株 式 会 社
 株 式 会 社 藤 井
 藤 井 建 設 株 式 会 社
 藤 井 稔 久 税 理 士 事 務 所
 富 士 金 属 工 業 株 式 会 社
 株 式 会 社 B R I G H T

フ ジ グ ラ ン 三 原
 株 式 会 社 ブ リ ッ ジ
 株 式 会 社 古 川 製 作 所
 株 式 会 社 古 林 電 機
 フ ル モ ト 建 機 株 式 会 社
 ヘ ア ー サ ロ ン に し は ら
 ホ ン ダ カ ー ズ 三 原 皆 実 店
 有 限 会 社 本 田 石 材 工 業
 株 式 会 社 ま じ ま 製 麵
 益 谷 建 設 株 式 会 社
 松 尾 社 会 保 険 労 務 士 事 務 所
 丸 源 ラ ー メ ン 三 原 店
 株 式 会 社 丸 善 商 会
 株 式 会 社 み どり 商 会
 有 限 会 社 み どり 書 店
 み どり 幼 稚 園
 瀬 戸 内 開 発 株 式 会 社
 三 原 郷 心 社
 三 原 共 同 生 コ ン 株 式 会 社
 株 式 会 社 三 原 国 際 ホ テ ル
 株 式 会 社 三 原 シ テ ィ ホ テ ル
 三 原 重 量 有 限 会 社
 三 原 松 操 有 限 会 社
 三 原 末 広 簡 易 郵 便 局
 三 原 タ イ ヤ 株 式 会 社
 三 原 M ・ C A T 三 原 テ レ ビ
 三 原 電 機 有 限 会 社
 株 式 会 社 三 原 美 装 社
 三 好 印 刷 株 式 会 社
 有 限 会 社 村 上 鉄 工 所
 株 式 会 社 も ゐ の 木 量 店
 盛 影 塗 装 株 式 会 社
 も り き ん デ ザ イ ン
 株 式 会 社 森 剛
 有 限 会 社 モ リ タ 美 研

上 菓 献 銘
 ヤ ッ サ 饅 頭
 三 原 の 味 で す 。 名 物 で す
 ヤ ッ サ 饅 頭 本 舗
 保 道 建 設 株 式 会 社
 株 式 会 社 や っ さ 石 油
 や ま さ 建 設 株 式 会 社
 山 田 記 念 病 院
 株 式 会 社 ヤ マ ナ
 山 根 法 律 会 計 事 務 所
 寝 ・ 生 活 館 よ し な が
 由 水 酒 販 株 式 会 社
 夜 船 司 法 書 士 事 務 所
 下 町 の 居 酒 屋 六 文 銭
 株 式 会 社 若 山 組
 有 限 会 社 渡 辺 商 会 社
 渡 辺 土 地 建 物 有 限 会 社

やっさもっさ新聞

yassamossa new spaper

vol.469



発行所 一般社団法人 三原青年会議所
 〒723-0052
 広島県三原市皆実4丁目8番1号
 三原商工会議所内2階
 TEL:0848-63-3515
 FAX:0848-62-1141
 mail:info@mihara-jc.com
 編 集 広 報 教 育 委 員 会



新時代もおもしろいゆ!!



三原市新成人のつどい
新時代もおもしろいゆ!!!

三原市新成人のつどい実行委員会
実行委員の皆様

令和2年1月12日、三原市芸術文化センターポポロにて「新成人の集い(成人式)」が開催されました。本年の新成人は917人。式典第1部では新成人を代表して2人の方が「自分たちをここまで育ててくれた親にとっても感謝している。人とひととのつながりを大切に、自分たちの可能性を信じて前進し続けたい。また自分たちが生まれ育った三原のまちへ貢献していきたい」と誓いの言葉を述べられていました。また天満市長をはじめ多くのご来賓が出席され新成人へ祝いの言葉を述べられていました。私たちも参加させていただき、式の後に新成人の皆様へインタビューを行いましたので2面をご覧ください。



もっと知って三原JC!! 「やっさもっさ新聞」「ホームページ」「Facebook」「三原テレビ」で情報発信中!!

[やっさもっさ新聞](#)
[ホームページ](http://mihara-jc.com/)
[facebook](https://www.facebook.com/miharajc)
[三原テレビ放送](http://www.mcat.co.jp/)

成人式にご参加の女性(三原市外在住)

Q:三原市外在住ということですが、その理由を教えてください。
 A:県外の大学に進学したからです。
 Q:三原のまちを離れてみて何か感じますか?
 A:今住んでいるところが中核都市なので遊んだり買い物するには不自由がないですね。三原も遊ぶところが増えたらなと思います。
 Q:大学を卒業された後三原に戻ってくる可能性はありますか?
 A:今のところは三原に戻ってくる予定はありません。
 Q:その理由を教えてください。
 A:人が減ってきているので将来を考えると安定して働き続けられるか不安に感じるからです。人が増えたら良くなると思います。
 Q:どうすれば三原のまちは良くなると思いますか?
 A:一部の人だけではなくみんなで三原のことを考えていくことが大切ではないかと思います。

インタビューを読まれて如何でしたか。三原に住み続ける方、また市外へ行かれ三原に戻る予定のない方と対局な意見を聞くことが出来ました。全国の地域共通であり三原市においても課題となっている人口減少。現在約9万3千人の人々が住み暮らしていますが、このままだと20年後には約7万2千人になると予想されています。20年間で約2万人の人口減少です。そうすると、生活関連サービス(小売・飲食・娯楽・医療機関等)の縮小、税収減による行政サービス水準の低下、地域公共交通の撤退・縮小、空き家・空き店舗・工場跡地・耕作放棄地等の増加、地域コミュニティの機能低下など人口減少による地方のまち・生活への影響は様々です。人口減少の一つの要因となっている若者の人口流出。進学や就職のため三原を離れ、そのまま市外へ定住するケースが多いのが現状です。この課題に対し三原市では若者や子どもたちへ郷土愛を育む教育が行われています。一般社団法人 三原青年会議所もこれまで郷土愛の醸成や青少年育成の活動を行ってきました。まちづくりは大人が行うものだと思いませんか。この新聞を読まれている若者の皆様も地域社会を形成する大切な一員です。広報教育委員会では若者のまちづくりへの参画意識向上が課題解決の鍵であると考えています。この1年を通して皆様がまちづくりに関わってみたいと思っただけのよう活動を展開してまいります。

みんなで描こう！ミライのMIHARA



コネクテッドカー(つながる車)や自動運転の電気自動車(EV)を中心に、あらゆるモノやサービスをネットでつなげる「スマートシティ」を静岡県裾野市に建設すると発表したトヨタ自動車。スマートシティとは、IoTをエネルギーや生活インフラの管理に用いることで、生活の質の向上や都市の運用及びサービスの効率向上、そして都市の競争力をつけ、現在と次の世代が経済・社会・環境の観点で需要を満たすことができるような都市のことです。5G元年となる2020年。様々なものがネットにつながり私たちの生活はより便利に、そしてより豊かになると予想されています。ここでご提案

。5GやIT、IoTやロボットで三原のまちが今後どう変わっていくのか、私たちと未来の三原をワクワクしながら共に思い描いてみませんか。一人でも多くの方が自分の住み暮らす地域について考えることで三原がより良いまちになっていくと思います。「こんなまちになったら良いな」と思うアイデアがありましたら、TwitterからDMをしていただくか、三原青年会議所のホームページで受け付けております。素敵なアイデアがあればやっさもっさも新聞で取り上げます。11月には頂いたアイデアを元に「未来のMIHARA」マップを作成し、こちらに掲載しますので楽しみに。

ミライのMIHARA！アイデア大募集！！



縄文時代は持続可能な社会だった!?



1万年以上も自然と共生し、平和が続いた縄文時代は「文明先進国がどこも体験することのできなかった貴重な時間」だった。現在、世界最古と考えられている土器の一つが、青森県大平山元(おおだいらやまもと)遺跡から出土したもので約1万6500年前。これは模様のない無文土器ですが、約1万4500年前ごろには、粘土ひもをはりつけた「隆(りゅうぎ)線(せん)文(もん)土器」が生まれ、全国に広がっています。世界の他の地域では、南アジア、西アジア、アフリカでの最古は約9千年前、ヨーロッパが約8500年前で、これらに比べると、飛び抜けて古いんです。従来の歴史では、メソポタミア、エジプト、インダス、中国が世界の「4大文明」であり、日本は文明を中国から教わった後進地域だった、と教わりましたが。近年の考古学はその歴史観を覆しつつあります。なぜユーラシア大陸の東端にある日本列島で、世界最古の土器が出てくるのでしょうか。従来の文明観では、石器時代の人類は狩猟・採集による移動生活を送っていたが、約1万2千年前から、世界の各地で農耕と牧畜を始めてようやく定住生活ができるようになり、そこから文明が始まったそうです。この文明観から完全にはみ出しているのが、1万5千年前くらいから始まった日本の縄文時代でした。そこで我々の先人たちは狩猟や採集のまま定住生活を始めたのです。日本列島を巡る海では寒流と暖流がぶつかり合って世界有数の漁場をなし、豊かな森林からは木の実やキノコなどがとれた。さらにイノシシやシカ、ウサギなどの動物も豊富だった。こうした自然の恵みで、縄文人は農耕や牧畜をしなくとも、四季折々の豊かな食物に恵まれていたのです。一般に、農耕・牧畜は狩猟・採集よりは進んだ文明段階であると考えられているが、メソポタミア、エジプト、インダス、中国の黄河流域がみな砂漠化している事を考えれば、農耕・牧畜が自然破壊を伴っていることがよく分かります。森を切り開いて畑にすれば、樹木がなくなってやがて表面の土壌が失われてしまう(水田は除く)。

牧畜でも家畜が草の芽まで食べてしまうので、植生が失われ、土壌が劣化します。それに比べれば、縄文人たちは1万年以上もこの日本列島で暮らし、しかも豊かな自然を残してくれたのです。2015年に国連で採択された持続可能な開発SDGsですが、縄文人たちの生活はまさにそのお手本といえます。しかしながら現代を生きる私たちはこのような暮らしに移行することはできません。今の時代に適した持続可能な開発を行うことが大切であると思います。SDGsと聞くとスケールの大きさに圧倒されてしまうかもしれませんが、皆様の身近なところで始められる取り組みがあるのです。それはまた次回にお伝えします。

